

研究課題番号	3RF-2201
研究課題名	セルロース系廃棄物転換に向けた低温・低環境負荷プラズマ反応場を用いた高効率触媒合成技術の開発
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	東京工業大学
研究代表者名	竹内 希

## 1. 委員の指摘及び提言概要

新規パルス電源の開発や触媒開発、およびプラズマ反応モデル、炭素材料を用いたスルホン化反応メカニズムの解明等、各サブテーマの研究成果は着実に得られているものと評価される。一方、廃棄物転換プロセスにおいては、物質・エネルギー収支、排水・廃棄物等に関する量および質と再資源化の可能性等に対する視点も重要である。この点、課題名にある「廃棄物転換」、「低温・低環境負荷プラズマ反応場」、「高効率触媒合成技術開発」とサブテーマの関連に不明瞭があること、触媒機構等の解明にとどまることなく研究を進めることの重要性も指摘される。また、早い時期の原著論文の発出とともに、国民との科学・技術対話をより積極的に行うことも期待したい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A